

神戸学院法学

第43巻 第3号

論説	社会モデルと更生保護	内田博文(一)
	フランスにおける信託的補充指定の	
	歴史的考察(一)	足立公志朗(1)
	無効な契約を清算する際に受益の主観的な価値を	
	顧慮して価額償還義務の範囲を制限しうるか	
	—民法(債権関係)改正中間試案および英米法を参考に—	
	中国独占禁止法にみる域外適用	笹川明道(73)
	日本における官僚制の史的展開(二)	王鋭(129)
	—公務員制度改革はなぜ挫折するのか—	
	—「聖職者例外」法理とアメリカ連邦最高裁(2・完)	南島和久(二〇五)
	—雇用差別禁止法と宗教団体の自由・再論—	
	Recklessness 概念の一考察(2・完)	福嶋敏明(153)
	—「Recklessness」による「共犯」の視座設定のために—	
	刑事証拠法の比較歴史法研究(3)	坂本学史(201)
	—現行証拠法の系譜—	
	大場史朗(229)	
資料	家族扶養強制法(1)	村井衡平(289)
	—カナダ、B・C州、二〇〇二年—	

2014年1月

神戸学院大学法学会